

① 今回の講義で最もインパクトを受けたことはなんですか？具体的に記入してください。

(抜粋)

それぞれの先生方の大学以降の人生が全体的に印象的でした。今回の講演で聞いた先生方の薬学部卒業後の進路は、自分の想像を超えてきました。尊敬できる人との出会いや周りの人からの助言で、自分の未来は大きく変わるとことを知りました。
今回の講義を聞いてまず、先生方の仲の良さに驚きました。同じ釜の飯を食った仲間同士とおっしゃっていたんですが、学年的にも離れているし、今では住んでいる場所も離れてしまっていますが、ずっと研究室仲間としての関係以上のものを保っているのを羨ましく思い、また自分もそんな仲間との出会いを期待したいです。でもそんな関係が成り立つ上で一番大切なのは、研究室選びだと確信しました。いい教授と出会い、なによりその教授のもとで研究を楽しむ心を持ちつつ研究することが、いい仲間と出会わせてくれるのだと思います。
入った学校よりも入った研究室の方が将来に関わってくるとのこと。
どの方も、聞いていると楽しくなっていた。これはやはり、全員がその人生を、職業を心から楽しい、やりがいがあると思っているからだと思う。研究することの輝きを大きく見いだせた貴重な時間であった。
遊ぶことも大事といったのがインパクトがあった。なぜならば、先生方は皆京都大学出身であったが、京都大学の学生は、研究とかに追われているイメージがあったので、そのような方から、遊ぶのが一番大事というようなお話は驚きであった。
「笑い」が必要であるというお話に最もインパクトを受けました。薬学の勉強をしていく上で、笑いが必要であると考えたことはないからです。ただひたすらに勉強することしか考えていませんでした。お話を聞きなるとなると思いましたが、今の薬学部のシステムでは難しいなと感じました。
今回の授業で、笑顔が大事といわれて驚いた。今まで、コミュニケーション能力や知識などがいわれることが多かったが、笑顔は言われたことがなかった。しかし、聞いてみて、大事と思った。また、ほかにも、構造を知ることが大切であることや薬学における生命指向型化学が創薬になる、といったことなどが心に残った。
薬学部出身者の汎用性の高さに本当に衝撃でした。もちろん、大学に入ってから薬学部の職業の多さは知ることがありました。しかし実際に今回の先生方のお話を聞いてそれを実感しました。自分は薬剤師になりたいと薬学部に来ましたが今回の話を聞いてそれだけではないことを実感しました。
現在教授でいらっしゃる三人の先生が、それぞれ異なる人生を歩んでこられたことに驚きました。また、薬の構造式と性質の関係については、もっと有機化学を学びたいと思いました。特にリレンザとタミフルの違いについて話がとても興味深かったです。
大高先生のお話では、薬学部で勉強すれば物質の構造を見ただけで薬の効き目がわかるようになって知って驚いた。他学部では学ばないようなことを、これからどんどんしていけるんだとわくわくした。玉村先生のお話では、偶然の思いつきが大きな発見につながるんだと衝撃を受けた。ちょっとした思いつきだけど、これは今まで学んできたからこそその発見なんだと感じた。林先生のお話では、前向きに生きていくことが大切なんだと思った。たとえリストラされても、自分のしたいことを諦めずに突き進んでいくような人になりたいと思った。
大高先生のお話の中で鳥のカナリアと化学をかけていた点がとてもインパクトがありました。構造式が分からないのは薬学人ではない、化学こそ薬学を特徴づける教養であるという言葉がとても頭に残っています。
私が今回の講義で最も印象に残ったのは、大高先生の「化学こそ薬学を特徴づける教養」というお話だった。患者さんに直接触れることがない薬剤師は、今後ロボットに変わっていきけるのではないかと聞き、そのように考えたことがなかったため驚いた。くすりの顔を見て、そのくすりの効き目などの情報を理解できるようにしっかりと知識を身につけていきたいと思う。
薬の顔相学は自分の知識不足を考えさせるものであった。
玉村先生の「HIV自身もエイズに効くものを持っているのではないか」という発想にインパクトを受けた。普通なら、エイズに効く成分を他の物質から探し出そうとするものだと思っていたが、原因となるウイルスから有効な成分を見出すという考えはなかなか思いつかないことだと思う。
3人の先生方から頂いた学生メッセージが印象的でした。進学、研究していく上で大切なことは発想、偶然、楽しむことだと激励していただきました。特にセレンディピティ、偶然を掴み取る能力を、学習や経験を積んで身につけていきたいと思いました。
玉村先生のお話の中で、研究で、仮説は結果的には間違っていたけど、大きな発見をし、人々の役に立つ薬を開発した、ということがありました。仮説と違った結果になることがあることはわかっていたのですが、そこから大きな成果が得られるというのにとっても驚きました。発想って私が思っていた以上に大切なものなんだと感じました。
島を買おうとしている人がいたこと。
自分のやりたいことをやるためには、自分で選んで進んでいかなければならないんだと改めて思いました。「苦労はお金を払ってでもすべし。」という言葉聞いて、今までの人生を思い返してみても、そういう経験はなかったように思ったので、私もハードボイルドに生きていこうと思いました。
林先生のお話で、一度リストラされていた、という話に驚きました。しかし、その後、就職できたのは大学の時の教授からのつながり、ということを知って薬学人として実験や勉強も重要であるが、大学で同じ時を過ごしてきた仲間とのつながりもそれと同じくらい重要なんだな、と感じました。
最後に講演をしてくださった林先生のお話の中にあつた、強くなりた人への処方箋の内容に最もインパクトを受けた。特に1)フルになる、2)険しい道を歩めば・どん底を味わえば、踊り続ければ強くなるという言葉の印象は大きかった。これは自分の今までの考え方とは大きく異なるものだったため、これからの自分自身のことを考えさせられるものであった。大変勉強になった。
フルになれという今まで決して言われることがなかった言葉。
林先生がおっしゃっていた、「10年後にも薬剤師という職業は存在するのか？」ということ。今まで考えたこともなかったので、衝撃を受けた。その中で生き残っていくには、経験からくる創造力とかひらめきといった人間にしかないものが必要になってくるし、そのために努力し続けなければならないと感じた。

② 今回の講義を聴いて、自分のこれからの学生生活に何か役に立ちそうですか？

20	54	9	0
----	----	---	---

とても思う
 そう思う
 どちらともいえない
 そう思わない
 全く思わない

具体的な内容（回答別）（抜粋）

どちらともいえない	<p>今回講義をしていただいた方々はみな高学歴で、発想が突拍子だと感じるところも多々あり、どこか雲をつかむような話だと感じられたため。</p> <p>私は薬学部に入りましたが将来の職は薬剤師や研究職だけでなくそのほかのものも検討しています。そのなかで薬の面白さを再確認させてもらったので、さらなる学習意欲向上につながると思います。</p>
そう思う	<p>私は将来、薬剤師になることを目標としていますが、今回の講演を聞いて薬学部を卒業した人、「薬学人」には、他の学部にはないたくさんの進む道があることがわかりました。また、その道に進むためには、楽な方向に傾くのではなく、むしろ自分に試練を与えて強くならなければならないとおっしゃっていたのがとても印象に残っています。学生生活でもいかに楽にものごとを終わらせるかではなく、いかに自分に負荷をかけるかということ意識して、いろいろな新しいことにチャレンジしようと思います。</p> <p>薬学人が化学を学ぶ意義を理解でき、授業に対する考え方が変わった。</p> <p>どの先生も共通して、「薬を構造から考えられるようになることが大切」とおっしゃっていた。将来どのような職業に就いたとしても、このような考え方ができることが薬学部生としての強みだ、とも言われていたので、今まで以上に有機化学の勉強に力を入れようと思った。</p> <p>最後の演題より、先生ご自身の経験から、製薬会社ではない会社で創薬をすることがいかに困難なことであるか、大学院での人とのつながりが後に自分を救うこともあるということから、そういった人との繋がりがいかに大切なものであるかを知ることができた。今後、学生生活において様々な困難にぶつかることがあると思うが、友人や教授との関係を大切に、社会に出たときにおいても十分通用するような課題解決力をそうした繋がりのなかで磨いていきたいと思った。</p> <p>玉村先生のお話にあった「学生の各段階ですべきこと、大事なこと」が今後の学生生活における参考になりました。</p> <p>大高先生を始め、玉村先生も大学生のうち何をすべきか、ということを示していただいたので良かったです。特に「人生で大事なことはどこの大学に入るかではなく、どこの研究室に入るかだ。」とおっしゃられたのは納得しました。私たちが学科配属があるので、とりえず今は入学したことに満足せずに目標を達成できるように勉強を頑張りたいと思いました。</p> <p>研究室選びは、自分の人生の進路さえも左右するとても重要な選択になるので、これから自分の本当に興味のある分野や研究内容を見つけられるように、視野を広げて薬学分野をはじめとした様々なことに注目していきたい。</p> <p>今回は勉強のことだけでなく、笑うことの大切さや楽しんでやること、人とのコミュニケーションや雑談、研究室での出会いなど、上手くやっていくためのものも教わることができた。また、困難を乗り越えることで強くなるということも覚えておき、色々なことに挑戦していきたいと思った。</p> <p>玉村先生の講義から、勉強が本分の学生と言えどやはり遊ぶことも必要なんだと僕も思いました。学生生活で遊ぶことは将来何らかの役に立つ、例えばあのとき遊んどけばよかったなんて後悔する必要もなく、また遊んでいるときこそ面白い発想が浮かんできたりすると考えています。全ては何かしら自分の役に立つと思いつながりながら学生生活を送っていききたいです。</p> <p>いつも適当に過ごしていたような気がするのでそれを変えるいい機会だと思う</p>
とても思う	<p>時間のある今のうちに、勉強と同じくらいしっかり遊んでおくのが大事だと知ることができたこと。私にとって盲点だったので、時間をうまく使っていこうと思った。また、学生時代にできる友人は一生ものの宝だと気づいたので、これからも大切にしていきたい。</p> <p>まず今できることを一生懸命にし、走り続けるこれから出会う先輩や先生との出会いを大切に。苦労することから避けないで、立ち向かって行く。研究室を選べるくらいの順位を取っておく。</p> <p>難しい研究内容というよりも学生時代やその後の人生についての話が多かったので自分と比較しやすく楽しかったです。薬学人の特権として創薬はとてもやりがいがあり、とても魅力的だと思いました。学生時代は遊びも勉強も全力で頑張ろうと思いました。</p> <p>研究室選択は自分の将来にすごく影響することがわかったし、人間関係・出会いが大切だと実感したので人との出会いを大切にしたい。また医療人としてでなく化学者として薬の顔を見ることができるよう化学を極めたい。</p> <p>今までは、n電子の非局在化や分子軌道などの漠然とした内容を勉強してきたが、それが薬学のどこに役立つのかをよく理解できていなかった。しかし、大高先生のお話を聞いて、薬は成分の構造を理解することが大事であり、そのためには有機化学の基礎の基礎から理解しなければならないということがよく分かった。正直、有機化学にあまり力を入れているわけではなかったのので、これを機に、もっと有機化学を勉強しようという気になった。</p> <p>大高教授の発表で薬品に光を当ててはいけない理由を本当に構造式だけで説明されていたので、有機化学の構造を考えていくことの重要性が身にしみた事</p>

③ 今回の講義は、自分の将来を考える上で役に立ちそうですか？

35	42	6	0
----	----	---	---

とても思う
 そう思う
 どちらともいえない
 そう思わない
 全く思わない

感想など

実際の薬学部出身の方のお話が聞けてよかったです。京大に行った理由などを聞くと、自分とは世界が違うなと感じました。
話の内容はとても参考になったが、“なんとなく”京都大学に行ったという人が多くて、少しではあるがレベルの差を感じた。しかし、話によると徳島大学と京都大学では学生の頭の良さはあまり変わらないということなので、これから頑張っていきたい。
この講演に参加してよかったです。薬学を学ぶ上で大事なことを再確認できたような気がします。
全部を本気で聞いた講演会は初めてだったと思う。勉学の楽しさなどあいまいに語られることが多いものを自身の体験談をリアルに見せつけていた点が非常に興味をひかれた。一年生の試験すら難しくてたまらない自分にとって難解な話を聞くより、学ぶ上でどう動くべきかなどを聞くほうが面白いと感じた。
化学をしっかり勉強しようと思った
知識不足を感じた。薬学という学問のプロフェッショナルを目指すにあたり、険しい道の上で踊り続け、しっかりと学を身につけていきたいと思う。
薬学部における有機化学を学ぶことの重要性がよく分かりました。有機化学に苦手意識がありましたが、今日の講演を聞いて、構造に注目すると有機化学はとても面白いと思いました。今後、大学の講義で有機化学の構造をより深く学んでいきたいと思います。今日の講演は大変興味深かったです。ありがとうございました。
大高先生は、セロトニンからの薬の導かれ方を分かりやすく噛み砕いて細かく教えて下さりました。未熟ながらも理解できた気がしましたし、とても創薬に興味が増えました。新しいことを理解できるということはやはりとても楽しいことだなと思い、これからも勉強に励んでいこうと思いました。
歌を忘れたカナリヤ（構造式を忘れた薬剤師）の話はすごく納得したし、医者・看護師にはできない化学的に薬を分析し構造式から薬をみることができるようになる有機化学を特に頑張りたいと思ったり、薬学部を卒業された先輩の話からリスクのない人生がリスクだという言葉に胸に挑戦していきたいと思う。
講師の先生方から、自らの薬学を学ぶきっかけや経験談、研究内容の一部の紹介や学生へのメッセージなどの貴重なお話を伺うことができました。より薬学や有機化学分野への興味が深まり、学習意欲が高まりました。3人の先生方、楽しいお話を聴かせていただきありがとうございました。
薬の顔相学に関する話はとても興味深い話でした。将来きちんと薬の構造を把握した薬剤師になりたいと思いました。
薬学部出身の先生のお話を学生時代の頃のことから聞くことができたのは初めてで、現在大学1年生である自分がどのように過ごすべきなのか考えさせられました。中には様々な企業に勤めて今に至る先生もおられ、研究者にもいろいろな経歴の方がいらっしゃるのだと感じました。また、研究者・薬剤師として働くうえで有機化学の基礎的な学問分野がいかに大事であるかということを知ったので、今後は基礎をおろそかにせず、有機化学に力を入れていきたいと考えようになりました。
自分は将来薬剤師になりたいのだが、講演会の中で最近の薬剤師は薬の効果や副作用は覚えているものの、作用機序など薬剤師にしかわからないようなことを知らないの、医者や看護師にでもできるといわれても仕方ない状況であると聞いたので、将来薬剤師になれたときは薬剤師の専門的な知識などを中心として、薬剤師としての能力を高めていきたい。
今はまだ将来どのようなことをやりたいのか、やっていきたいのか分かりませんが、とにかく進んでいくしかないの、後悔だけはしないように自分にできる精一杯のことをやりたいと思った。それは勉強はもちろん、遊びも含めて自分の人生を豊かにすること全部に関して当てはめていきたい。私の夢を最後まで見失わずに頑張っていこうと改めて思った。
大高先生からは有機化学を極めることの大切さを、玉村さんからは間違っても発想を持つことの大切さを、林さんからはチャレンジすることの大切さを学んだ。また、先生方のように互いに切磋琢磨しながら何年先でもつながりを持てる友人の存在は大事だなと思った。今回の講義では、勉強面はもちろん、それ以外の大切なこともたくさん学ぶことができ、本当に貴重な時間だった。ここで学んだことをこれからも忘れずに、自分の将来を考えながら勉強や遊びに励んでいきたい。
卒業後も大学に残って研究するという選択肢は、今まで全く考えたことがなかったが、何かを発見したり研究したりすることも、ある種のワクワクを感じることができる、素晴らしい選択肢なのではないかと思いはじめた。もちろん、そのワクワクに達するまでのそれまでの道のりは長いだろうが、その分達成感も大きいだろう。
薬学部は幅広い分野で活躍できる人が多いことがわかりました。
講師の先生たちは学生時代では予想できていなかった道に進まれているのだなと感じた。
先生方の実際の経験談を聞くことができ、とても貴重な時間になりました。薬学部を卒業することがゴールではなく、その先もたくさん道があって自分もいろんな経験をしていくのかなと思いました。今学生のうちに自分の将来についてきちんと考えて具体的な夢が見つけられたらいいなと思いました。
貴重なお話ありがとうございました。自分の課題を見つけ、将来につなげていけるように努力していこうと思いました。また、人とのつながりを大事にしていこうと思いました。
勉強以外にも大事なことがたくさんあると学べて、とてもためになる講演だった。そして、同じ薬学部でも将来の選択肢が多岐にわたることを改めて実感できてよかった。
先生方、とても参考になるお話をありがとうございました。今までは薬剤師免許を取って就職すればいいかと考えていましたが、それだけではつまらない人生になってしまう、と気づかせていただきました。これからの学生生活を将来に活かせるよう日々を過ごしていきたいと思います。本当にありがとうございました。
薬学部を卒業されて、今教授として活躍されている先生方のお話を聞くことで、自分がこれからどのようなことを大切にして学生生活を送っていったらいいのかということや、これからの人生をどういうふうと考えていったらいいのかということが学べたと思います。お話はとても面白く、ためになることがたくさんあったので、講演会で聞いたことを参考にして、学校生活を送れるようにしたいと思いました。
今回の講演では、今まで持っていなかった新たな考え方を得ることができました。今後の自分の進路を考える上で参考になる貴重なお話を聞くことができました。

<p>自宅から少し離れた自転車15分のところにあるという理由でいとも簡単に京都大学にさらっと入学する先生たちは天才だと思いました。また、卒業した後も同じ大学の同じ研究室の仲間は一生涯の付き合いになるということに感銘を受けました。卒業して何十年も経った今でも、こんなに親交の深い先生方を見て、私もいつかこんな関係が築けるような研究室の仲間を持ちたいと思いました。</p>
<p>今回の講演を聞いて、もっと人との出会いを大切にしようと思えました。薬学部の同期はもちろん、サークルの先輩、後輩、そして2年後にお世話になることになる研究室の方々など、様々な場面で関わる、様々な人々との出会いひとつひとつを宝にして、力になれる時は助けたり、時に助けられたりしながら、自分の財産にできたらと思います。今回はお忙しい中、心に残る講演をしていただきありがとうございました。</p>
<p>今回特に印象に残ったのは、講義をしてくださった先生同士の仲の良さとお話の面白さでした。研究室でたまたま同じになって、学年も離れていたりしてもあんなに仲が良いのは素敵だと思いました。</p>
<p>研究の楽しさと難しさ、両方を実感することができました。特にセレンディピティという言葉が印象に残っています。偶然と洞察力によって予期しなかったことを発見すること、洞察力があってこそ偶然を導くことができるのだと感じました。楽しんでやる、先を考える意識、好奇心、スペシャル、思いやり、笑顔など、この講演で聞いた言葉を思い出してこれからの学生生活を送っていききたいと思います。</p>
<p>林先生のお話は個人的にとても共感できました。玉村先生のお話の最後にあった「セレンディピティ」は、以前参加した湯川先生の講演会でも聞いたことがあり、どの研究にもつきものなのだと感じた。お話をしてくださった先生方は皆さん楽しそうで、研究に興味を持てた。</p>
<p>転勤やリストラを経験されても踊り続ける、頑張り続けることを学びました。</p>
<p>苦労したいとは思わないものの、苦労して難題に立ち向かえばいつか自分のためになるということがわかりました。ワルになれ、という言葉がとても印象に残っています。研究室選びがとても重要だということがよくわかりました。</p>
<p>やはり、薬剤師の国家資格は取るべきだと思いました。</p>
<p>今回の講義は、少し難しい部分もあったけど、興味深くためになるお話を聞くことができ、とても良かったです。自分の学生生活を見直す良いきっかけとなりました。</p>
<p>貴重なお話をたくさん聞かせていただき、私にとってとても有意義な講義であった。今回学んだことを今後活かしていきたい。</p>
<p>今までまだ雲のような創業者、あるいは研究者としての展望、進路であったが、生の声を聴き、あるいはそういった人生論を聞いて非常に有意義だった。このような講演をしてくださった話し手の方々、並びに機会を与えてくださった大高教授にとても感謝している。</p>
<p>三人の先生が色々な体験を話してくれるのでとても面白かった。</p>
<p>講師の方それぞれが本当に面白くて、もう一人の方のお話も聞きたかったです。それぞれの人生があって、私もこれからいろんなことにぶつかるんだろうなと思いました。でも今回の話がきっとその時に助けてくれるような気がしました。</p>
<p>今回の講義は、内容もわかりやすく面白かったです。</p>
<p>素晴らしいお話ありがとうございました。あとから振り返った時に後悔しないような、人生を送りたいです。</p>
<p>講師の方に笑いを交えた楽しい講演をしていただき、その中で初めて考えたことがたくさんあったため、とても有意義な時間を過ごすことができました。貴重なお話をありがとうございました。今後活かしていきたいです。</p>
<p>大変楽しく聞かせていただきました。これからの大学生活に役立てたいと思います。</p>
<p>大高先生のカナリアの薬剤師版の替え歌には感銘を受けました。また林先生のお話において、「険しい道を歩めば人は強くなる。どん底を味わえば人は強くなる。踊り続ける」という言葉を聞き、今後大きな苦難にあったとしてもこれを乗り越えれば自分はまたひとまわり強くなるのだと思い頑張ろうと思いました。先生方、年末のお忙しい中、私たちのためにお越し下さり貴重なお話をありがとうございました。</p>
<p>レポートの材料になればいいという程度で発表のメモを取り始めましたが、どの講師の先生方の発表の内容も自分の学生生活、将来に役に立ちそうな内容だったので、メモを取っておいてよかったと心から思いました。今後活かしたいと思います。ありがとうございました。</p>
<p>今回の講演は自分の進路選択にととても勉強になることが多かったため、とても有意義な講演でした。</p>
<p>難しい研究の話ばかりではなく、私たち一年生の目線に合わせたお話もあったので、わかりやすかつたし、面白かったです。</p>
<p>講師の先生の話がおもしろかった。</p>
<p>このような機会は一年生にととても貴重だともっています。</p>
<p>先生方の話はユーモアを交えられていて、とても楽しんで聞くことが出来ました。これからこの話を活かせるように学生生活を送りたい。</p>
<p>いろんな面白い話を聞かせていただいてとても楽しかったです。こういった先生方の体験談は興味が湧くし、聞いていて面白いのでこれからも続けて欲しいと思います。</p>
<p>テストなどがなくて胸抜けていた時期にこういった刺激的なお話を聞いて本当に良かったです。堅苦しい雰囲気ではなく笑いを交えての講義だったので面白かったためにもなりました。</p>
<p>今回の講義は将来、薬学を担うものとして素晴らしく、ためになるものばかりであったと思いました。時に、笑いを交えながら、時に、難しく、時にシンプルで分かりやすくしてくださったお話はとても強く記憶に残りました。またこういう機会があればいいなと思いました。</p>
<p>教授方の経験談をもとに、薬学部を出てからどういった将来がありうるかを具体的に考えることができました。貴重なお話をありがとうございました。</p>
<p>今回の講演で講師の先生の話聴いて、大変刺激を受けた。またそれぞれのお話は興味深く、勉強になった。またこのような機会があればいいと感じた。</p>
<p>時間を事前に見たときは長いなと思っていましたが、あっという間に終わりました。それぞれの先生が極端な人生を歩んでいて、とても面白かったです。一年のうちにこのような話が聞ける機会があるというのは贅沢なことだと思いました。来年の一年生にも参加させてあげて欲しいです。</p>
<p>先生たちの経験談を聞いて、良いことも悪いこともあるけれど頑張り続ければ何とかなるんだということがわかりました。ありがとうございました。</p>
<p>とてもためになりました。</p>
<p>今回薬学部を卒業した方の様々な体験談が聞いて、本当に貴重な体験になりました。私も今後、自分がどのような仕事に就きたいのか、何がしたいのかをしっかりと考えなければならぬと思いました。そのためにも、今私ができることを一つ一つやっていきたいです。ありがとうございました。</p>

<p>今回は専門性の高い研究の話というよりは、もっと肩の力を抜いた話が多かったので、とても楽しく聞くことができました。研究室での話が沢山聞けて面白かったです。ますます研究者への夢が膨らみました。ためになるお話をたくさん聞かせていただいたので、今後活かしていきたいと思います。貴重な経験をありがとうございました。</p>
<p>なかなか普段は聴けない話を聞くことができすぎて参考になったし興味深かったです。野水先生のお話が聞けなかったのがとても残念です。また機会があれば聞けたらいいなと思います。</p>
<p>どの先生も、野水先生の話は面白い、と言っていたので、聞けなかったのがとても残念。</p>
<p>講師が一人来られなくなってしまったのが残念だった。おもしろそうなので、機会があればその方の話も聞いてみたい。</p>
<p>大高先生が講演の最後に「カナリヤ」を有機化学を忘れた薬剤師の唄に変えていたのが面白かった。</p>

質問・要望など

<p>まずこのような面白い先生方の経験を講義として聞ける機会を作っていた大高先生に深く感謝したいです。もう一人の先生の話が一番楽しみにしていた為、不幸事とはいえ聞けなかったのは残念です。しかしその代わりに大高先生のお話も聞けてよかったです。林先生の抗体に薬成分の付与をするという研究を聞いて、今授業でしている免疫に関わる内容で、面白いなと思いながら聞いていました。また玉村先生の講義のなかでおっしゃっていたと思いますが、同じ薬を投与していく上で病原体が薬の耐性を持つから研究者とのいちごっこという話がありました。それで思い付いたことなんですけど、薬自身にもその耐性に対して変化するような遺伝子のようなものを取り入れたりってできないんですか？それで薬と病原体同士にいちごっこさせておけば、投薬する種類が少なくすんでいいのではないかと思いました。無知なので変なことを言っているかもしれませんが、少し疑問に思いました。いろんな話を聞いて、自分は薬学部に入って創薬の研究者になりたいと常に思っていたので、すごく刺激になりました。ありがとうございました。</p>
<p>講演会に来られる方が大高教授の同研究室の方ということもあり、ペプチドや京都といったことに話が傾いていた気がする。もう少し、別のルートを歩んだ方のお話も聞けたらいいなと思った。</p>
<p>もう少し早く講演会があることを教えてほしかったです。</p>
<p>研究内容の説明をもう少しわかりやすくしてほしかったです。</p>
<p>2人目に講演をしていた先生のスライドが途中で英語になった時に、字が小さくて後ろからは見づらいつ感じた。</p>